

同窓会は鳥羽小を応援しています



入学式

鳥羽っ子の幸せと夢の実現のために



令和2年3月  
第29号  
鳥羽小学校同窓会



新入会員紹介

〜令和元年度卒業生〜

学校のウェブサイトで過去の会報(第17号以降)や学校の近況をご覧になれます!  
<http://edu.town.wakasa.fukui.jp/toba-s/> または「若狭鳥羽小」で検索



## 輝かしい未来社会に向かって

同窓会長 岩本守博

令和になって初めての新年を迎えました。会員の皆様初め、ご家族の皆様にも幸多からんことを心からお祈り申し上げます。

昨年度は小原区内のある農家の方が、献穀斎圃場を引き受けられ、献穀粟を献上されました。農家主は白衣を身にまとわれ、荘厳な空気の中で神事に臨まれました。令和の時代幕開けの喜びと輝かしい未来への希望を、天皇家とともに共有できた瞬間のように思えました。

さて、今年度の卒業生は十七名と聞きました。昨年度は確か二十名でしたので、鳥羽小でも少子化の片鱗を感じる事ができます。人口が減少すると経済が後退するというのが常識なのでしょうが、少子高齢国家日本の動向を、似たような先進諸国が注視するという状況が続いているようです。今年度はオリピックが東京で開催されます。その後の経済動向も注目されます。十七名の卒業生が社会へ出るのにはそのオリピックが終わった後の数年以降になります。

県裾野市に建設すると発表しました。人・車・データがインターネットでつながり、家庭内ロボットやAIがサービスを提供する「ウィブン・シティ」は二十一年から着工され、当初は二千人の入居を予定しているといわれています。昨年までは「IOT社会の到来」と騒がれていたのですが、そのうちに「IOE社会の到来」となることでしょう。「IOE社会」はスペイン・バルセロナの市役所ですでに始まっています。それに米・中・韓で始まっている5G社会が、遅かれ日本でも構築されることでしょう。高齢者にはなかなか理解できないバーチャル社会の到来となります。

卒業生諸君はそのような高度なバーチャル社会第一期生となるような気がします。変容する社会は受け入れざるを得ません。それならば、積極的に立ち向かっていくてほしいと思います。不明確なところへ、不安定なところへ向かう積極性を培ってほしいと思います。そして意欲をもって輝かしい未来社会に向かってほしいと思います。

ところで、今年度は同窓会からスリッパ一五〇足分と学校花壇・鳥羽小学校同窓会会員の皆様には、まずまずご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に對しまして格別のご理解とご協力を賜っておりますこと心からお礼申し上げます。



## ご挨拶

校長 古田宗吉

菜園用の水道設備を贈呈・整備させて頂いたいただきましたので、ご報告いたします。

最後になりましたが、会員諸氏並びにご家族の皆様のみならず、ご発展とご活躍を心から祈念申し上げます。

さて、今年四月から学習指導要領という学校教育の基準が新しいものに切り替わります。それにより、これまで先行実施されていた三年生からの外国語活動や特別な教科「道徳」に加え、プログラミング教育などのあたらしい学習が幾つか加わります。この今回の学習指導要領改定は、世界のグローバル化が一段と進んでいることを実感させるものです。それはベースに、二〇一五年国連サミットで採択された二〇三〇年までに達成を目指す十七の「持続可能な開発目標(SDGs)」があるように思うからです。私がこの鳥羽小学校に勤

めさせていただいた三年間の間にもいくつか関係する出来事がありました。とぼつ子保育園の植木が根こそぎ倒れる大風が吹きました。田鳥から瓜生へ抜ける街道が水没したこともありました。また、冬の積雪量が、本当に少なくなりました。こんな自然災害をもたらす気候変動は、ここ鳥羽地区だけではなく全国、全世界に及んでいます。またマイクロプラスチックに代表される海洋汚染などの地球環境汚染も続いています。このままの開發を人類が続けていくと、地球の生物が生きていけない限界を超えるかもしれないと言われるようになりました。そこで今後生物が生きていける環境の持続性を保持するため、十七の行動目標が「SDGs」として定められました。そして日本政府は「SDGs」が実現可能な社会である「Society 5.0」の実現を目指そうと

しています。政府広報HPで上白石萌音さんが主演しているPVが流されていますからご覧ください。たまたま方もおられるのではないのでしょうか。「Society5.0」の社会は、今以上にグローバル化が進み英語が標準公用語の役割を果たし、人工知能(AI)とネット回線が融合した機器が便利な生活を支える社会になると予想されています。今、鳥羽小学校に通う鳥羽っ子が生きる社会がこの Society5.0 の社会になるのでしょうか。その社会で自分の夢を実現できる力を全ての子どもにつけられるよう学習指導要領が改定されたと考えています。

大きな変革の中での教育活動です。立ち上がりには色々と解決しなければならぬ課題が出てくると思います。しかし、鳥羽っ子はそのような状況を逆に楽しんで、そして元気に学校生活を送って

## 子ども時代の遊びは一生もの

水江キヨ子

(昭和34年度卒)

新しい令和の時代の始まりということもあって、私たち三十四年度卒業生の同窓会が開かれました。この時、仲間の一人が大きな和紙を帯状につなぎ、力強い筆文字で小学校の校歌を書いてきてくれま

れると、私は確信しています。その様子を、鳥羽地区の会員の皆様はもちろんのこと、鳥羽を離れた会員の皆様にもご覧いただけたい幸いです。ご都合のつくときいつでもご来校ください。現役鳥羽っ子と職員一同、心からお待ち申し上げております。

さて、私事となりますが、この三月で定年退職を迎えることになりました。この三年間、伝統ある鳥羽小学校でたくさんの思い出をつくることができました。これが四月からのセカンドライフに向かう活力となりそうです。何も鳥羽小学校に残すことができなかった私を、いつも温かく支えてくださった同窓会員の皆様に、最後に深く感謝を申し上げます。

三年間、本当にありがとうございました。

した。みんなビックリです。

♪向こう鏡の山高く 鳥羽の谷  
川水清し・・・♪

仲間全員で大合唱したのは言うまでもありません。この歌詞は、この年齢になった今もいつも身近

にあります。車を走らせながら四季折々山を見上げては口ずさみます。卒業以来、いろんな日々の積み重ね、平穏な日々ばかりではなかったはずですが、この校歌を口にすれば少なからず、私の場合気持ちに変化が起きます。何故なら、この歌の先に昔々の自分をふっと思い出すからです。今になると思いついてはあやふやしたものでありませんが、ただただ笑っているだけでいた日々だったような気がしてなりません。

登校すると朝から校庭でドッチボールしながら笑い、休み時間になると講堂の片隅でお手玉しながら笑い、新屋先生の持つ精神鍛錬棒が怖いと言って笑い・・・勉強に関しての思い出はほとんどなくて、教わった先生方には申し訳なくいくらいです。

学校からの帰り道は、道草が当



山鏡山を望む鳥羽小学校

たり前で食べられそうな物には手をのびし、ツバナの新芽はガムみたいだと食べ、麦畑のクロンポで口の回りを黒くして笑いころげていました。家に帰れば瓦あて、メシ、秋には杉葉拾いに山へ、冬になれば竹スキー、いきおい余つて脇の田んぼに突っ込んだこともありました。

学校でも家に戻っても遊びにはきりがありませんでした。そんな小学校の頃の思い出が、今なお心の元気につながっているということは幸せなことです。鏡山をながめてはあの頃の仲間を思い、あの子は今どないしているやろと思えば、ニヤリ・・・と笑えてくるものです。私たちは団塊の世代。今や注目の世代です。二千二十五年には後期高齢者となり、問題は山積みだと行政は騒ぎます。又、人生百年！七十代を老人とは呼ばない・・・そんなフレーズも耳に入ってきます。

さてこの先、何に焦点を合わせればいいのか、健康なのか、経済的なことなのか、シニアの不安は年々大きくなるばかりだと思えます。だからといって深刻に考えてみたところで、どうなるわけでもないことはこれまでの経験で実証済みです。あの日の同窓会の席で幹事さんがこんなことを言っていたのを思い出しました。「みなさん、今日は年金の話、病気の話、孫の話はやめましょう！」と。団塊

の世代に向かつて、それはちよつときつくはない・・・と思つたことでした。

けれど今になって、この三つの事にとらわれないで暮らすキーワードは何だろうと思つた時、私にはもうこれしかないと思つきました。それは「遊び心」です。この心でなんでもやってみようと思ふのです。

子供の頃は自分が楽しければよかつた。けれど今はそうもいきせ



## 思い出す木造校舎

泉 坂 峰 司

(昭和37年度卒)

んが、自分の立ち位置を考えつつ、「遊び心」を發揮できたら楽しいだろうなと思ふわけです。かつては当たり前であつたことが、年々そうでなくなつてゆくことでしょうか、スロウライフの中でも、地域に根ざして「遊び心」でもつて、誰かのお役に立てたらいいなと思ふことです。今回は、貴重な機会を有り難うございました。

(若狭町下夕中 在住)

昨年十一月、M・S君から原稿依頼があつた。どうしてもと言う事でお受けすることになつてしまつた。一昨年にT・S君が送つてくれた同級会記念アルバムをまた開いてみた。旧校舎解体時の写真がついていて、一緒に卒業記念文集の写しも入つていた。先生方や同級生の名前を懐かしく思い出させてくれた。

卒業して五十七年が過ぎ、殆どは忘れてしまつてゐるが、不思議と校舎はよく覚えてゐる。校庭をコの字型に囲んだ木造の校舎である。

校舎中央に正面玄関があり、奥に校長室と職員室があつた。その両側

に一年生から三年生までの教室があつた。二階は四年生から六年生の教室があり、左右には踊り場のある急勾配の階段があつた。太い手すりがついていて、それを滑り台にして一気に滑り降りたものだった。先生に叱られたか覚えてゐない。

左側の建物は講堂で大きなステージが備え付けられ、全体朝礼や学芸会が出来た。室内運動場を兼ねていて、吊り棒や助木が備えられていた。皆でのドッチボールは楽しかつた。ステージ向かい側に大きなガラス戸が有り、下足箱が設置されていて、皆そこから校舎にお出入りしてゐた。

後ろ側には給食調理室があつてお昼前には美味しい匂いがしてゐた。

右側の建物には一階に音楽室と工作室があつた。二階の理科準備室に薬品類、鳥や動物の剥製、ヘビや虫等のホルマリン漬け瓶が置いてあつた。ちよつと気味が悪かつたが何故かとても興味があつた。理科実験室の奥に裁縫室と呼ばれる畳敷きの広い部屋があつた。

間違つてゐる所が有るかもしれないが、木造校舎の卒業生は思い出してくれたらどう。

麻生野分校は小さな建物だつたと覚えてゐる。一つの教室で一年生は二年生の予習、二年生は一年生の復習ができた。三年生から本校に砂利道を歩いて一時間。晴れた日はたまに車が通ると土埃を被り、雨の日はズボンがびしょ濡れ靴は泥だらけになつた。夏は下校途中の家の蛇口で水を飲み、冬は雪が凍つた田んぼの上を学級まで歩いてゐた。五、六年生担任の先生が「高橋宗一先生」今もご健在である。この頃になると同級生としてのまとまりができて来たように思ふ。

鳥羽地区在住の同級生が中心となり厄年と還暦には伊勢神宮参拝、完成直後の東京スカイツリー見物など同級会を企画し

てくれた。他に度々開いてくれる。大阪在住のY(旧U)・Aさんが「鳥羽谷つうしん」という同級会報を発行してくれていて、同級生の近況を知ることが出来てとてもありがたい。

校舎は鉄筋に変わり、きれいに整備され、近代化された学校で、これからは大勢の子供たちが卒業して行くだろう。その皆が幸せな人生を歩出す場として、鳥羽小学校が大いに発展してほしい。

(群馬県伊勢崎市在住)





# 鳥羽谷

## 百田照美

(昭和46年度卒 旧姓 高橋)

鳥羽小学校といえば、まず思い出すのは楽しかった分校時代、時にはふざけ過ぎて立たされてもあまり気にせず（あかんやん）、まるで家族のような雰囲気の中での学校生活でした。三年生からは本校に通い、なにかあるたびにすぐメソメソしていた泣き虫の私は、とても面倒くさい下級生だったと思います。先輩はみんな優しくお世話してくださり、とても感謝しています。子供の足で片道一時間の約四キロの道のりを帰り道は、ツバナ（チガヤの穂の出るまえ）をとって食べ、うろろ道草しながら二時間くらいかけて帰ったのも楽しい思い出です。冬場はみなさんお馴染み、凍てついた雪の上を学校まで一直線に歩き、うっかり溝川の上でも歩けばごそつと腰まで埋まり、大笑いしながら必死で抜け出していたのを思い出します。

四年前に家の都合で退職し、今とはばっ子保育園でパートとして勤めています。先日散歩で子ども達と麻生野からむかい無悪、上黒田を通って保育園まで歩きまし

た。「うわー！四十何年ぶりにこ歩くわー」と、ものすごい感慨にふけて歩きました。（もちろん子どもはすっかり見ながらですよ）ずいぶん変わったところもありますが、五十年近く前と変わらない風景に、タイムスリップしたような不思議な感覚になりました。また、鳥羽の子どもたちのたたくまじいこと、近くの畑から、残ったねぎを掘り出してくると（畑の



方の了解済み）七輪のようにして網で焼いて、早く食べたい！とバトルになるくらい。うまく焼けると甘いですが、待ちきれなくてまだ生焼けのねぎでも、「からい」といいながらかじる子もいます。保育園の遠足の時、運悪く雨が降ってもレインコートを喜んで着、雨を楽しんで鼻歌を歌いながら帰り道を歩いていく姿を見ていると、保育士さんたちにしつかり気持ちを受け入れてもらって活動できるのはもちろんですが、時代が進んでパソコン、スマホと社会はずいぶん変わってきて、古き良き時代の鳥羽谷の気質は変わっていないのかな、とうれしくなります。それにしても、小さい時から人付き合いが苦手な、まともに社会生活ができるのだろうか、と不安



# 小学生時代の思い出

## 佐野寿彦

(昭和48年度卒)

に思いながら過ごしてきた自分がこの年まで生きてこられたのは、鳥羽の豊かな自然の中で育てていただき、周りの皆さんにたくさん助けていただきご指導いただいたおかげとても感謝しています。感謝していると言う言葉では済まされないほどたくさん迷惑をおかけしてきたなあと、生活に一段落ついた今、深い穴を掘って入りたいような申し訳なきがあります。「そう思ったなら、しつかりご恩返しせよよ」ともう一人の私が言っています。せめて何か少しずつでも役に立てることがあればと、こんな私にでも言ってきたくださるお仕事はさせていただけよう日々過ごしています。相変わらず周りの皆様に迷惑をかけながら・・・。

(若狭町神谷 在住)

今回、鳥羽小学生時代の記憶を思い起こす機会を頂いたが、小学校で学んだ頃からはもう半世紀近くが経っていることに改めて気づかされ、非常に驚いている。私が小学生のころは、毎年冬になると自分の背丈を優に超える雪

が積もった。親に先導してもらい、その足跡をたどって集団登校の集合場所へと向かうものの、たどった頃には長靴の中には雪がぎっしり。それどころか集合場所は山沿いで手ごろな法面があったため、皆がそろそろ間、ランドセル

をソリ代わりに誰が一番遠くまで滑ることができるかを競い合って。

学校についた頃には教科書もノートもシワシワ、頭から爪先まで汗と雪水でずぶぬれの状態。こんな事だから当然勉学の神様からは早々に見放されてしまったが、ちつとやそつとでは風邪などひくことのない丈夫な体を得ることができた。また、足腰についてはこれとは別に忘れ物をよくしたことで十分に鍛えてもらった。私は、誰にいくら言われても学校の準備は朝のバタバタでしかできず、しょっちゅう漢字ドリルや三角定規、図工道具などを家に置き忘れたまま授業を受けていたので、見兼ねた先生から「佐野くん、次の授業ではコンパスを使うけど持って来ないだろう。一〇分間の休憩時間中に帰って取っただい。」と言われ、家まで三〇〇m、猛ダッシュで取りに帰った。今、思い返すと恥ずかしに限りであるが、当時は無事、間に合ったことで女の子たちがおどろいてくれた事にてれくさいながらもちよつと誇らしく感じたりしていた。その後も幾度となく友達に教えられては先生の許可をもらい家までのダッシュをしていた記憶が浮かん

でくる。  
また、夏休みには、三田の同級生たちとイカダで鳥羽川を下り海まで行く冒険をしようと言うことになり、それぞれ家のノコギリを持ち寄って他人さんの山に生える青竹や杉の幼木を勝手に何本も切

り倒し、見よう見まねでイカダを造ったりした。結果は当然ながらの失敗。生木で作ったイカダは重すぎて子どもたちでは山から運び出すことができず、小さく作り直したものの運ぶうちに形が崩れだし、鳥羽川に入船した際には青竹が勝手気ままに流れ出す始末。組み直す気力もなくなり、みんな鳥羽川に浸かって大作業での汗を流して帰った次第。

こんなことばかりしていた小学生時代であったが、大人の方々は怒られたような記憶はなく、子どももやることだからと寛大に見て伸び伸びと育てて頂いたように感じる。

私の育った時代とは異なり、今の子どもたちには色々習い事が多く自由となる時間が少なかったり、遊びの用具は何でもそろっていたり、大人が何かと関わってきたり、となかなか子どもたちだけで何かを発想したり、大人を困らせたりするような機会は少ないのかもしれない。しかしながら、学校横にあるピオトープ水田を覗いたりした際には、子どもたちならではの発想や工夫の跡を見つけることがあり、感心するとともにたくましく、また、うれしく感じた

りもしている。  
どんだんと自由な発想をもって大きく羽ばたけ、鳥羽小学生！

(滋賀県大津市 在住)



## 鳥羽小学校を卒業して、 思うままに。

竹内 功

(昭和51年度卒)

昭和五十年(一九七六年三月)に卒業し、二〇一九年で四十三年の月日が流れました。私も五十六歳となり五十六歳という自覚がない日々を過ごしています。鳥羽小学校を卒業し上中学校、舞鶴工専を卒業後、現在の会社(京都市内の測量・土木設計、地質調査業を営む会社)に就職し健康、良き先輩にも恵まれ現在も元気に働いております。

この原稿依頼を受け小学校の時のことを思い出すと、まず頭に浮かんだのは新任の大塩先生にご指導いただき取組んだソフトボールが浮かびます。それは男女、学年問わずチームを作り上中町内の他の小学校と町代表の栄冠をとるために汗を流したことが思い出されます(大塩先生はその後の上中中学でもお世話になることとなりました!)。また私は無悪の生まれです。幸いにも同級生が男四人、女一人と多く、特に同級生の男とはよく遊んだことを思い出します。その中でも私を含め三人で無悪の裏山を散策、山登りして山向こうの十村に下山し(実質は迷子状態)夜に親に迎えに来てもらったこと





かからなく（ほとんど嫁に任せつきりですが）時間に余裕ができてくると、同級生も同様の状況なのか小学生の同窓会がここ数年、オリンピックの年に開催され参加していません。早速来年の同窓会の一文案が届いており楽しみにしているところですが、やっぱり幹事は



## 大切な場所

石 神 一 美

（昭和61年度卒 旧姓 竹内）

この度、原稿依頼を受け小学校時代を思い返す良い機会を頂きました。

関わってくださった先生方、友達と過ごした時間、図書室の配置、音楽室の匂い、今にも壊れそうな

地元に残っている同級生が主となり、企画や準備を進めていただき非常にありがたく思っています。過去数回開催された同窓会では小学校時代の思い出話に話が咲き時間が足りないほどに盛り上がっています。私の学年は三十六名の同級生、その全てが集まることはないですが毎回落しみにしています。

時代も流れ、昭和・平成、現在は令和、鳥羽小学校のホームページを見ますと生徒数が一学年十〜二十人と少なくなっているのが少し寂しく思いますが、記事や写真を見ますと活発な様子が窺えうれしく思います。時代は超少子高齢化、これからますます子供の数が減る傾向。上中町から若狭町へと変わりいろんな施策を講じ元気な街づくり尽力されていると思います。田舎を離れた私ですが今後も同級生と長く付き合い田舎（上中、大鳥羽、無悪）を忘れることなく大切にしていきたいと思えます。  
（滋賀県大津市 在住）

おんぼろのストロブ、凍った雪の上を歩いた朝、道草した帰り道、いつもお地蔵さんに手をあわせていたなあ。とても懐かしい風景がよみがえります。そして思い出したことが一つ。

確か五年生か六年生の時だったと思います。休みの日、友達数人で遊んでいました。ふと学校へ行こうという事になり、学校まで行くくと、たまたま教室の窓が一方所開いていて、私たちは何も考えず教室に入っていました。しばらくすると「こらー！」ととても大きな声で叫びながら警備会社の人窓から入ってきました。とにかくびっくりしました。そしてなぜ学校に侵入したのか追及されました。悪



さをしようだなんて思うはずもなく、たまたま学校に来てたまたま窓が開いていたから入った、大した理由もありませんでした。とにかく怖かったのを覚えています。

しばらくすると、若新先生が田んぼ着のまま駆けつけて下さいました。田んぼ仕事の忙しい時に連絡を受け慌てて、そしてあきれ心配して、本当に申し訳なかったと思います。あの時若新先生が来て下さっても安心したことを覚えていきます。それに、先生は私たちが悪さをしないことを初めから分かってくさっていました。担任の先生でないにもかかわらず私たちのために駆けつけて下さり、そして信じて下さった若新先生、本当にありがとうございます。



日本百名山のひとつ「荒島岳」(大野市)

鳥羽小学校を卒業して三十年以上がたちますが、小学校時代の六年間に経験した良いことも悪いこともそのすべてがかけがえのないものだったと改めて感じます。鳥羽という地域とそこに住む方々に温かく見守っていただき、育てていただいたと感じます。感謝の思いでいっぱいです。

そして十七年前、私はご縁があつて里芋が美味しい大野市の上庄地域に嫁ぎました。友人も親戚もない所へ主人だけを頼りに嫁いだ私を両親や地域の方々が温かく迎えて下さいました。上庄は非常に鳥羽と雰囲気似ていておかげですぐに馴染むことが出来ました。そして私の二人の娘たちは今、こ

の上庄で地域の方々に温かく見守られ、育てていただいています。私が鳥羽で大切に育てて頂いたように、ご縁があつて嫁いできた上庄を私は大切にしていきたいと思っています。

そして、上庄の地からいつまでも私の大切な故郷である鳥羽地区が温かく幸せな場所でありまますようお願いしています。

(大野市在住)



## 鳥羽小と私

松宮 容子

(平成2年度卒 旧姓 小林)

山肌にひっそりと、しかし鳥羽谷の中央に何十年も変わらず存在し続けてくれている私たちの学校。鳥羽小学校。この確かな存在に何度励まされ、支えてもらってきたことでしょうか。卒業して約三十年。その間鳥羽谷を離れ、東京で暮らしたこともありましたが、辛く悲しい事があると決まって思い出されるのが鳥羽小の風景でした。その

風景に包まれた思い出を、少ししたためさせて頂こうと思います。小学校の間の私は、なんせ泣き虫。小学校生活を思い出すと、泣いていたことばかりで、クラスのみんなや先生方をとても困らせたと思います。この場を借りて、「ごめんなさい！」と謝らせて頂きたく。しかしそこから視野を広げていくと、スポ少のソフトボールで



優勝したことや、たて割り班の業間遊びで笑い転げた事など、沢山の満たされた思い出が蘇ってきます。

一、三年生の担任の先生は岡本瑞子先生。岡本先生の漢字の教え方が大好きで、「雨」という漢字はポツポツ雨粒が空から降ってくる様子と、地面に雨粒がはねる姿なんだよ。」と絵を描きながら教えてくださった事を今でも鮮明に覚えています。書き順やとめ、はね、はらいも歌いながら。それが楽しくて、楽しくて。図画工作もとてもユニークに教えてくださり、手作り金メダルを作るときの細かなハ

サミの使い方は今も私のハサミを使うときの基本で、ぜひわが子にも伝授したい至極の技です。

五、六年生の担任の先生は、若新一雄先生。若新先生との二年間は強烈で、チャレンジする事、達成する事の大切さをクラスみんなを感じた二年間でした。松ノ木庄左衛門の劇は、全国からお客様が見える中、大成功を修め、クラス全体の自信になる出来事でした。

若新先生との出会いは小学校時代だけに留まらず、社会人になつてからもご縁を頂くことになりました。

私は東京で音大に通い、声楽科を卒業して帰郷しました。その事を知った当時鳥羽小の校長をされていた若新先生が「なあ、容子。鳥羽小の子供らに歌ってくれや。」と声をかけて頂き、すぐにコンサートを開いてくださいました。泣き虫で弱虫な私、だったけれど、それでも自分の得意とすることを磨きあげれば、社会人として立つことができる。そんな想いを子どもたちに伝えられれば・・・と思いがたら帰郷したところでしたので、若新先生のおかげで一番に母校の鳥羽小で実現できたことは、今の音楽活動に繋がる大きな第一歩であり、幸せな瞬間でした。

豊かな自然と、個性を見出し大切にしてくださる先生方に恵まれ、育まれた私の鳥羽小時代。私の人生の基盤はこの時に作られたのだ



と思います。そして今も尚、この環境は守られており、子どもたちはすくすくと育っていると感じます。この豊かな環境がこれからも続きますよう、同窓生として、子



## 自分の原点

竹内 優太

(平成16年度卒)

を持つ母として、いつまでも願い、そして力になっていきたいと思っ  
ています。  
(若狭町下吉田 在住)

ある日、私の携帯に小学校の恩師である高橋彰男先生(現鳥羽小教頭)から着信がありました。そこで、「同窓会報の原稿を書いてくれないか」とお声がけをしていた  
できました。先生には、五、六年

生時に担任をしていただいた恩もあり、喜んで引き受けさせていた  
できました。

私は現在、福井市で中学校の教員をしています。若狭高校に進学後、大学は県外へ出て、福井に戻ってきました。私は、今年で採用から三年を終えようとしています。教員として生活をしていく中で、当時の自分の姿と子どもたちを重ねて考えることがあります。私がいる学校は、小規模校で幼稚園、小学校、中学校が併設されている珍しい学校です。だから、毎日発達段階の違う子どもたちと向き合うことができます。教員をしていて思うことは、自分はこの子どもたちをどうやったら成長させてあげられるかということです。毎日挑戦と失敗の連続ですが、自分たちを成長させていたのだと多くの先生方の姿を思い出しながら働いています。

私たちは、同級生二十一人とともに鳥羽小学校時代を過ごしました。私たちの学年の男子は、本当に一人一人が個性的で、自己主張が強く、秀でていたところもたくさんあれば、足りないところもたくさんありました。自分が担任だったら苦労するだろうなと思います。私たちは、すぐに思ったことを口に出して人を傷つけたり、周りに迷惑をかけていたりしたので、高橋先生をはじめとした先生方には、たくさん指導をしていただきました。そのおかげで、私たちは充実した学校生活を送ることができました。その経験から、子どもたちとしつかりと向き合い、その子に合った指導をすることを意識しています。

また、高橋先生は私たちに多くの活躍の場を与えてくれました。私たちは、昼休みになると男性の先生方を誘い、サッカーの対決をしていました。今思えば、仕事も残っていたと思います。しかし、毎日のように本気で先生たちに勝とうとする自分たちの相手をしてくれたことは、学校に行く大きな楽しみでした。また、体育大会では、自分たちオリジナルの体育大会を作ろうということでも様々なアイデアを実現させてくれました。そのおかげで自分たちの意見に自信を持つことができました。高橋先生は、辛い経験や無理かもしれぬという課題にもしつかりと立



ち向かう心を鍛えてくれました。そして、それらを自分たちでやり遂げるといふ充実感や達成感を味わわせてくれました。本当は、陰でたくさんサポートをしていただいたのだろうと今になっては思います。当時の教えがあつて今の自分があります。当時、受けた恩は自分の生まれ育った鳥羽地区に帰り、返していきたいと思えます。そして、未来を生き抜く子どもたちを育てるといふこの素晴らしい仕事に全力を注ぎたいと思います。この鳥羽地区がこれからもみんなの良きふるさとであることを祈っています。

(福井市在住)

# 学校の近況

## 【学年別児童数】

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
16	17	17	17	21	17	105

## 【集落別児童数】

大鳥羽	上黒田	麻生野	海土坂	三生野	無悪	三田	小原	南	山内	持田	長江	朝霧	校区外	合計
11	6	8	9	16	5	8	3	5	9	4	9	10	2	105

## 【職員構成】

校長	教頭	教諭	養護教諭	事務職員	講師	学習支援員	調理員	校務員	合計
1	1	8	1	1	1	2	1	1	17

## 【令和元年度 教育目標】

### 自分の良さを生かし 夢を実現できる児童の育成

- ・自ら、対話的に学習をすすめる子の育成
- ・自分も友だちも大切にする子の育成
- ・健康な体づくりを習慣化している子の育成



## 【主な行事】

4月	入学式・始業式・集落児童会・身体計測・全国学力学習状況調査・交通安全教室・PTA総会・敬老会
5月	田植え・内科検診・PTA奉仕作業・歯科検診・プール修繕・鳥羽リンピック
6月	避難訓練（火災想定）・AED講習会・前期校内研究会・プール清掃・水泳学習開始・家庭地域学校協議会
7月	福祉学習・教育懇談会・PTA研修会・終業式・自然教室・プール開放（8月中旬まで）
8月	PTA奉仕作業
9月	始業式・稲刈り・自由研究発表会・親子歯みがき教室・校外学習「コウノトリの郷公園」・PTAリサイクルバザー
10月	町小学校陸上記録会・後期校内研究会・就学時健診・福祉学習・マラソン大会・修学旅行・秋季遠足
11月	税金教室・避難訓練（地震想定）・町P連ソフトバレーボール大会・町小中学校音楽会・魚さばき体験学習
12月	町学力調査・県学力調査・教育懇談会・終業式
1月	始業式・学校給食週間・スケート教室・感謝の会
2月	新1年生体験入学・家庭地域学校協議会・6年生を送る会・鳥羽っ子学習発表会
3月	卒業証書授与式・終業式・修了式



### 令和元年度 鳥羽小学校同窓会決算書

令和2年3月末現在

#### 【収入の部】

(単位:円)

	元年度決算額	備 考
会 費	422,000	1,000円×422戸
協 力 金	8,050	職員700円×11人、350円×1人
寄 付 金	4,820	同窓会役員より
前年度繰越金	10,753	
合 計	445,623	

#### 【支出の部】

(単位:円)

	元年度決算額	備 考
会 議 費	18,200	理事会、編集委員会
事 務 費	44,000	印刷経費
事 業 費	374,444	
会 報	101,750	同窓会報第29号
教育振興	272,694	児童用図書 校庭花壇水道設備設置費用 来客用スリッパ スキー、スケート教室補助
雑 費	5,000	地区区長会へ
次年度繰越金	3,979	
合 計	445,623	

### 令和元年度 鳥羽小学校同窓会役員名簿

役 員	集落等	氏 名
会 長	小 原	岩 本 守 博
副会長	無 悪	竹 内 一 善
"	長 江	谷 口 文 代
顧 問	三 田	小 林 銀右工門
"	三 田	福 谷 洋
"	大鳥羽	松 宮 保 彦
"	三 田	岡 本 嘉 樹

役 員	集落等	氏 名
顧 問	上黒田	澤 本 啓 一
"	海士坂	竹 内 小太衛
"	小学校校長	古 田 宗 吉
幹 事	麻生野	三 宅 繁 樹
"	持 田	竹 内 奈 央
監 事	三 田	香 川 和 博
"	麻生野	世 儀 純 子
事務局	小学校教頭	高 橋 彰 男

役 員	集落等	氏 名	
理 事	大鳥羽	森 下 真 利	森 下 友理子
"	上黒田	山 崎 文 裕	橋 本 浩 利
"	麻生野	中 島 博 和	三 宅 翔
"	海士坂	中 村 浩 樹	池 田 貴 一
"	三生野	重 長 達 樹	川 崎 弘 貴
"	無 悪	岡 野 学	北 川 和 宏
"	三 田	水 田 弥 生	北 川 由美子
"	小 原	島 津 利 明	島 津 一 義
"	南	畠 中 達 也	東 繁 樹
"	山 内	中 畑 正 伸	寺 西 浩 子
"	長 江	原 田 佳 典	清 水 友美子
"	持 田	竹 内 奈 央	玉 井 純 枝
"	朝 霧	鳥 羽 角 栄	大 西 博 美



#### 編集後記

令和の新しい時代も早二年目の春を迎えました。昨年は異常気象により「命を守る行動を」その言葉を皆様も多く耳にし、目にしたのではないのでしょうか、本年は災害のない年であってほしいと望みます。

さて、今回「同窓会報第29号」を発行させていただきました。寄稿をいただいた会員有志の方、小学校先生方のご協力に編集委員一同深く感謝し厚くお礼申し上げます。前回より総天然色印刷となり、すこしは見やすくなったかと思いが不備な点につきましてはお許し願いたいと思います。次回の発行に向け、会員の皆様より鳥羽谷の思い出、近況等々募集しております。いつでも結構ですので小学校事務局までお願いします。鳥羽小学校ホームページに今迄の会報誌が掲載されていますのでご覧下さい。最後になりましたが会員皆様のお幸をお祈りいたします。

(竹内記)

# 鳥羽谷で育む、心豊かな鳥羽の子



鳥羽地区敬老会



鳥羽リンピック



写生大会



遠隔授業



自然教室



ぶどう狩り



エンゼルランドの科学実験



コウノトリの郷見学



イングリッシュモーニングタイム



稲刈り



山内かぶら



パレア探検



ハート&アートフェスタ



修学旅行



福祉活動(点字を学ぶ)